

高度な医療サービスがより早く享受できる

第三次医療施設60分カバー率

1 鳥取県の現状

- 鳥取県内の第三次医療施設は、鳥取市の「県立中央病院」と米子市の「鳥取大学付属病院」です。
- 県内の二大都市が第三次医療施設60分カバーエリア内に含まれており、カバー率は86%（平成18年度値）となっています。
- しかしながら、倉吉市を中心とした県中央部はカバーエリアの空白地帯であり、医療サービス面で格差が生じています。

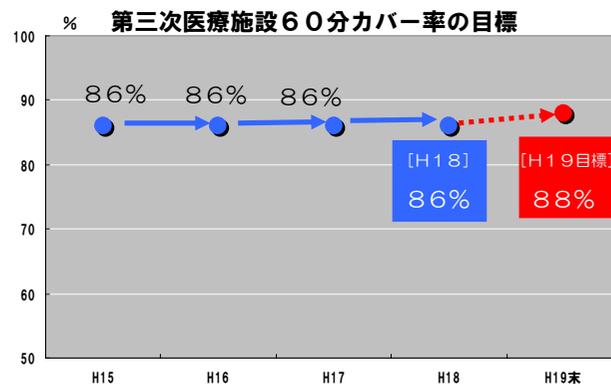


2 昨年度の成果（達成度報告）

- 平成18年度は、名和・淀江道路、中国横断自動車道姫路鳥取線、北条倉吉道路などの事業について整備を推進しました。このうち、北条倉吉道路が供用しましたが、60分カバーエリアは広がりませんでした。ただし、倉吉市から第三次医療施設までアクセス時間が短縮されました。

3 本年度のとりくみ（業績計画）

- 平成19年度には、名和・淀江道路が供用され第三次医療施設60分カバー率が拡大されます。
 - よって、アウトカム指標の目標値は、2ポイント上昇の88%と設定します。
 - また、第三次医療施設60分カバー率の向上が期待できる他の事業箇所も、早期供用を目指して整備を推進します。
- 各事業の進捗状況はp. 6～7参照



H19年度完了事業箇所の一覧表

主体	路線名及び事業名	期待される効果	備考
国土交通省	名和・淀江道路 ※延伸部を除く	第三次医療施設60分カバー圏の拡大	—
国土交通省	志戸坂峠道路	第三次医療施設へのアクセス時間短縮	—

